

朝日新聞

中国人留学生の姿を
テレビ番組にする

ひと

ちょう
張

れい
麗

れい
玲さん



思い立ったら、一直線に走
る。

日本の商社で食糧貿易の仕
事をしながら、中国人留学生
の暮らしを三年がかりで約八
百本のビデオに収めた。

いまはそれを十五本のテレ
ビ番組に編集している。「私
たちの留学生活、日本での日
々」と題し、春には北京で放
映される予定だ。

「中国の人は、日本へ行っ

た留学生の苦勞を知らない。
懸命に生きる姿を記録し、中
国本土に伝えたい」

その一心で周りの知人から
撮り始めた。人づてに民放テ
レビのドキュメンタリー担当
プロデューサーを訪ね、撮影
のノウハウを聞き、最後は専
門のカメラマンを紹介しても
らった。

平日の夜と休日をつぶし、
取材した人は約二百人。経済

「中国の人は、日本へ行っ

学博士をめざす人、娘の学費
を単身で稼ぐ人、寂しさから
帰国を決意した人……それぞ
れの夢と挫折を織り込み、六
十六人の日常を撮った。

「彼らの生活を追うこと
で、いまの日本が浮かび上が
ってきました」

昨年四月、中国中央電視台
(CCTV)の番組を通信衛
星放送のチャンネル「CCT
V大富」で流す「大富」の社

「中国の人は、日本へ行っ

長に。中国では女優をしてい
た。その人脈を通じて舞い込
んだ話だった。

ところが、「大富」の筆頭
株主だった元の勤め先の商社
が八月に倒産。「会社は小さ
いけど、後ろは中国と日本。
いい加減にはできない」と、
支援を求めて大企業トップと
直談判し、切り抜けた。

二十二歳で来日。大学で学
び、就職し、いやな思いもた
くさんした。いまは、多くの
日本人に支えられたと実感で
きる。両国を知る「真ん中の
人間」だからこそできること
がある、と信じている。

「まず、知ることが大切。
ドキュメンタリーを作ったの
も、CCTVを日本で流すの
も、思いは同じです」

文 森川 敬子
写真 久松 弘樹

「いつも、今日一日を後悔しないように送ろう、と思っています」。31歳。